



子ども育ちの家「ていいく」

9月1日、熊本市西区(上高橋1丁目)に障がい児通所支援事業、子ども育ちの家「ていいく」がオープンしました。「ていいく」とは、障がいのある子どもたちの幸せやご家族の思い、日々通っている幼・保育園、小中学校(支援学級・学校)、地域、事業所、福祉行政など、これまで幅広く手をつないで活動を続けてきた育成会の理念にもとづいて名付けられました。

「ていいく」の目指すプログラムとは？

コミュニケーションスキルの向上！

子どもたちの自発性を高める！

ライフステージの充実！

障がいの有無にかかわらず、これらの目標は私たちにとても大切なことです。「ていいく」では、療育や学習、スポーツ活動等をとおして、この3つの要素を取り入れたプログラムを展開します。



STAFF紹介

春野今朝伸です。
教職を退職して3年目です。
大好きな子どもたちに囲まれて、また、仕事ができるなんて夢のようです。「ていいく」の目標が実現できるように頑張ります。



はじめまして！
指導員の増永照美と申します。子どもたちとの毎日は、老体には少々刺激的ですが、もっと、一緒に遊んでいろいろな体験をしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



指導員の植田 貴大です。
サッカー、ゴルフなどスポーツ大好き人間で、観戦したり、自分ですることもしばしば……。今までの経験を生かして「子どもたちに何かを伝えられれば」と思っています。よろしくお願いいたします。



つぎのステップへ

開所してひと月余りが過ぎ、少しずつ、子どもたちの賑やかな声が聞かれるようになりました。

反面、一人一人の困り感やつまづきも見えるようになり、支援内容の検討や教材の工夫が何より大切であることを痛感しています。「ていいく」では個別支援計画にもとづいて、活動プログラムを作成していますが、しばらくは、会話を楽しみ、心を開き合って、次のステップに進んでいくようにしています。

(春野)



三和中学校の通学路に面した閑静な住宅地に子ども育ちの家「ていいく」があります。

当日は、上高橋校区の川上自治会長様、副会長の竹崎様、AAR Japan 佐賀事務所長の久保田様、中外製薬の加藤様をはじめ、関係者を含め、20人の出席者で開所式を開くことができました。



初めての出会い(自己紹介)

